

## 5月議会がスタートし、市会の新体制が決定

2024年第1回定例会市会5月議会が、5月9日から29日まで開かれました。この議会では市会の新体制を決定するとともに、議案などの審議を行い、市政全般に対する一般質問を行いました。(市長提出17件、議員提出1件、合計18件)

5月9日の本会議では、副議長の選挙が行われ、堂下豊史議員(公明党)が就任しました。議長は昨年に引き続き、坊やすなが議員(自由民主党)が務めます。また、27日の本会議で6つの常任委員会と3つの特別委員会の委員を選任し、市会の新体制を決定しました。(4面参照)

### ごあいさつ

神戸市会議長として2年目を迎えました。2023年は、地方6団体の1つである全国市議会議長会会長にも推挙され、全国市議会を代表して、少子高齢化や人口減少に直面する地方自治体の諸課題について、国や全国の自治体関係者と議論を行ってまいりました。同じような課題は神戸市も抱えていますが、大都市でありながら海と山に囲まれた自然豊かな街として、神戸の個性を最大限発揮し、持続可能な都市へ成長していくため、神戸市会は、皆さんと一緒に解決策を考えていきたいと思ひます。2024年度も、よろしくお願ひいたします。

このたび、神戸市会副議長に就任いたしました。2025年1月に、神戸市は阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。国内外からの多くのご支援と、市民が力を合わせて助け合うことで復興と発展を果たしてきた、その経験や教訓を今後も継承していかなければなりません。また、神戸を取り巻く環境が変わりつつあるなか、将来を見据えた時代にふさわしいまちづくりが必要です。このような重要な時にあたり、神戸市会としても積極的に施策を提案するとともに、市民の代表として、将来の神戸のために一層の努力を重ねてまいります。



議長  
坊やすなが議員



副議長  
堂下豊史議員

### 2024年 第1回定例会市会【5月議会】の動き

5/9	本会議	○ 開会 ○ 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告 ○ 議席の一部変更 ○ 副議長選挙
5/15	本会議	○ 補正予算・条例改正などの議案の提案・質疑 ○ 議員提出議案の提案・採決
5/20・21	常任委員会	○ 補正予算・条例改正などの議案及び陳情の審査
5/24	本会議	○ 議案の討論・採決 ○ 議案の提案・質疑・討論・採決
5/27	本会議	○ 人事案件の提案・採決 ○ 補正予算・条例改正などの議案の討論・採決 ○ 特別委員会の報告 ○ 常任委員会・特別委員会・市会運営委員会の各委員の選任
5/28・29	本会議	○ 一般質問 ○ 閉会

2・3面でご紹介

次期市会は、第2回定例会市会【9月議会】の予定です。

### 議決した主な議案

#### 2024年度5月補正予算

- 旧農業公園再整備に向けた基幹インフラ設備の更新などを行います。

#### 人事案件

- 神戸市副市長および神戸市監査委員の選任、神戸市農業委員会委員の任命、兵庫県公安委員会委員の推薦に同意しました。

### 未来都市創造に関する特別委員会 市民報告会を開催

4月16日に開催した市民報告会では、2023年度の委員会での活動や市長への提言内容について、議員から市民の皆さんに報告を行いました。

参加者の皆さんから事前にいただいた質問やご意見に議員から回答するなど、議会を身近に感じ、議員の意見を直接聞いていただく機会となりました。

### 市会議事堂ミニコンサートを開催

5月9日、市民の議会への関心を高め、「開かれた議会」を目指すとともに、神戸国際フルートコンクールをはじめとした「音楽のまち神戸」を推進するため、市会議事堂ミニコンサートを本会議場で実施しました。当日は、モーツァルトのフルート四重奏曲など2曲が演奏され、市会議員をはじめとする本会議出席者や傍聴者が、神戸市室内管弦楽団の清水信貴さん(フルート)、黒江郁子さん(ヴァイオリン)、横井和美さん(ヴィオラ)、山本彩子さん(チェロ)が奏でる音色に聴き入りました。





# 本会議での一般質問から

5月28日・29日の本会議では、一般質問が行われました。  
その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）



5月28日



5月29日

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。

神戸市会 中継 | 検索

## 教育・こども

5月28日の一般質問から

### 新教育長の想いと決意

**Q** 社会の多様化や複雑化などの社会状況の変化により、学校教育を取り巻く環境は厳しく、教員の多忙化対策や不登校、いじめなど、取り組むべき課題も山積している。4月に教育長に就任され、神戸市のこれからの教育行政に対する想いと決意を伺いたい。

ひらい まちこ  
平井 真千子 議員  
(自由民主党/長田区)



**A** 学校現場は多様な学びの保障と教員の働き方改革という大きな矛盾に直面しており、教職員が本質的な視点で知恵を絞り、勇気を持って改善に取り組む体制を目指す。子どもたちの最大の当事者である保護者に学校運営に参画いただき、現状や課題を共有しながら、「こどもまんなか社会」の実現に努力していきたい。

5月28日の一般質問から

### 子どもの体験格差問題

**Q** 家庭の経済的な事情などのため、子どもが学校の外で得られる体験機会の格差の問題が注目されている。体験格差により進路や職業選択に差が生じ、所得格差や世代間での連鎖につながるような体験格差は正のための対策を早期に講じるべきではないか。

すみもと かずのり 議員  
(日本維新の会/須磨区)



**A** 体験格差の解消には、経済的支援に加え、身近な場所での多様な体験機会の創出が重要。のびのびパスポートの発行、野外活動を行う団体への補助などに加え、児童館の体験プログラムも充実させている。市バス・地下鉄のエコファミリー制度の平日への適用拡大も予定しており、幅広い観点から取り組んでいく。

5月28日の一般質問から

### 人口減少社会における未来への投資

**Q** 人口減少という社会課題に対し手をこまねているのではなく、市民が未来の神戸に期待を持てるよう魅力ある将来像を描き、前向きに取り組んでどうか。子育て世帯や未来を担う子どもたちの教育にこそ投資すべきであり、個人の生活に焦点を当てた細やかな支援策を実施していくべきではないか。

さとう まちこ 議員  
(日本維新の会/垂水区)



**A** 次期総合基本計画(※1)では、人口減少社会に向き合う持続可能なまちづくりを目指し、未来の神戸に期待を持てる魅力ある将来像を描く。切れ目ない子ども・子育て支援の充実に向け、大学、地域団体、企業など多様な主体と連携して個々の状況に対応した支援に取り組むたい。

5月28日の一般質問から

### 通学路の安全対策

**Q** 通学路の危険箇所については、「神戸市通学路交通安全プログラム(※2)」をもとに対策を進めているが、何年も時間が経過しているケースも少なくない。物理的、財政的に対応が困難な場合もあるが、保護者や地域に検討状況の説明やフィードバックをしっかりとすべきではないか。

みやた きみこ  
宮田 公子 議員  
(公明党/西区)



**A** 要望が対応困難とされた場合でも代替案を検討するなど改善に努めているが、途中経過であっても、保護者や関係者に状況をフィードバックしていきたい。「神戸市通学路交通安全プログラム」については、より実効性のある仕組みを整える必要があり、見直しに向けて検討を進めていきたい。

5月28日の一般質問から

### 不登校生徒の居場所づくり

**Q** 不登校の理由は生徒によってさまざま、校内サポートルームやフリースクールにも通うことが難しい場合には、同じ悩みを抱えた保護者同士で意見交換もできるサークルを作り、不登校生徒の居場所を提供しているケースもある。より身近な学校外の居場所づくりとして、このような取り組みを神戸市がサポートしていくべきではないか。

いわさ けんや 議員  
(公明党/東灘区)



**A** 不登校支援には多くの選択肢を持つことが重要であり、学びの多様な化学校(※3)の設置やくすのき教室の分室の新設などに取り組んでいる。今後、保護者などによる居場所づくりについても情報収集していきたい。

5月29日の一般質問から

### 学校運営協議会の委員選任

**Q** 学校運営協議会(※4)の委員選任について、「地域とともに創る学校」の実現のため学校の事情をよく知った当該校の卒業生など若い世代の視点はとても重要であると考え。生徒会執行部を経験した卒業生に対し委員就任を働きかけるなど、若い世代の選任に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

ゆきお かつ 議員  
(こうべ未来/西区)



**A** 複雑化する学校課題に対応するため、学校や地域の実情をタイムリーに知る卒業生に、子どもたちに近い視点から意見をいただくことは大変重要である。子どもたちにとって最善な学校を実現するため、学校運営協議会の充実に向けて各学校園をしっかりとして支援していきたい。

5月29日の一般質問から

### 通学定期券補助制度の対象要件の見直し

**Q** 高校生等通学定期券補助制度の対象要件で、満18歳となる年度を超えていないこととされているため、例えば外国にルーツを持つ子どもたちは入学時期の関係で最後の1年間は自己負担となってしまう。多様な高校教育環境の維持という制度趣旨から現行の要件を見直すべきではないか。

とみお たくみ 議員  
あわはら 富夫 議員  
(つなぐ/中央区)



**A** 高校生世代を幅広く支援するため、標準的な就学年数の16歳から18歳までの通学定期代を補助するもので、申請手続きを簡素化し利便性の高い制度を目指している。個別事情があることは理解しているが、まずは現行の運用でスタートした上で利用実態を把握し対応を検討したい。

## 健康・福祉

5月28日の一般質問から

### 困難な問題を抱える女性への支援

**Q** 神戸市内でDV被害女性を支援する民間団体が、住宅取得の困難なシングルマザーなどさまざまな困難を抱える女性や子どもが安心して暮らし、自立を目指すことができる施設をオープンさせる。女性を取り巻く社会問題が多様化するなか、神戸市はこのような民間団体の取り組みを後押しすべきではないか。

なんの ゆうこ 議員  
(日本維新の会/東灘区)



**A** さまざまな課題を抱える女性に個別に対応し適切に支援するには、行政にはない経験、ノウハウを積み重ねてきた民間団体との協働が不可欠。今後も協働を深め、きめ細かい支援に努めるとともに、そうした民間団体の活動が持続可能なものとなるよう配慮していく。

5月28日の一般質問から

### 計画的なAEDの設置

**Q** AEDはいつでも救急が必要な場面で利用できることが重要である。適正設置に関するガイドラインでは、救助者の目印ともなるコンビニへの設置が推奨されている。特に郊外など配置の少ないところにはコンビニに設置するなど、24時間提供できる箇所数を増やしていくべきではないか。

みやた きみこ  
宮田 公子 議員  
(公明党/西区)



**A** 24時間AEDが利用可能な「まちかど救急ステーション(※5)」は、市街地に比べると郊外の登録が少ないため、24時間営業のコンビニなどにもさらに働きかけを行いたい。既存登録施設も、施設内の24時間提供可能な場所への配置替えに理解と協力を求めていきたい。



# まち・くらし

5月28日の一般質問から

## ポートアイランドの活性化

Q ポートアイランド・リボーンプロジェクト(※6)が始まり今後が楽しみな一方、問題も多い。ファッションタウンの活性化や、ポートピアプラザなど住宅と民間施設が共存しているまちの活性化など、直面している課題にも積極的に取り組むべき。

かわなみ ただかず  
河南 忠和 議員  
(自由民主党/中央区)



A 神戸空港の国際化などによるまちのポテンシャルの高まりを最大限に発現させるため、リボーンプロジェクトを推進している。ポートピアプラザなど周辺エリアでも空きテナントが目立つ状況が続いており、課題認識を持っている。ファッションタウンでは関係者の皆さんと相談を始めており、この動きを加速させていきたい。

5月28日の一般質問から

## 空き家対策の推進

Q 空き家の早期活用を促すには初期対応が必要で、居住実態が不明瞭な物件に対する手当が求められている。民間事業者などとの連携により、空き家になる前段階の物件の戸数把握に努め、さらなる対策の推進に取り組むべきと考えるが、現在の状況や見解はどうか。

やました てんせい 議員  
山下 てんせい 議員  
(自由民主党/西区)



A 空き家か不明瞭な物件の戸数把握は難しいが、固定資産税情報を活用し所在地と所有者住所が異なる物件を空き家と推定し、相談窓口や支援制度のチラシ配布をするなど、広く空き家の可能性がある対象に働きかけを行っている。さらに、郵便局との連携検討も含め、早期の空き家対策に取り組んでいきたい。

5月29日の一般質問から

## 自衛隊への個人情報の提供

Q 神戸市は市内の18歳と22歳の個人情報を本人の同意なく自衛隊に提供している。自衛隊への情報提供は義務ではなく、原則非公開の個人情報を提供することはプライバシー権を保障した憲法第13条に違反する行為であり、中止すべきと考えるがどうか。

あかだ かつのり 議員  
赤田 かつのり 議員  
(共産党/垂水区)



A 募集対象者情報の提供は法令に根拠があり、個人情報保護法においても提供制限が解除されているため憲法に違反するものではないと考える。自衛隊は被災地での活動や国の防衛という重要な任務を背負っており、その人員確保に協力することは、自治体として適切であるとの神戸市の判断で情報提供している。

# 経済・観光・文化

5月28日の一般質問から

## タンタンの追悼

Q 王子動物園のパンダ、タンタンが亡くなり、愛され親しまれてきたことを形として残し、いつまでも記憶に残していくための取り組みに寄付したいという声も聞く。思いを形にする取り組みを行いパンダの再誘致につなげるべきではないか。動物園の再整備にパンダがいてくれるとの期待と希望がつかがるようにしてほしい。

かわなみ ただかず  
河南 忠和 議員  
(自由民主党/中央区)



A タンタンの記憶を後世に残すための形に残る取り組みを検討しているところだが、寄付のご希望もあるため、クラウドファンディングの手法の活用も検討していきたい。新たなパンダの誘致については、市民の声や議会の論議を踏まえ考えていきたい。

5月28日の一般質問から

## 学校を巻き込んだ文化の継承

Q 神戸市の課題である地域活性化や担い手の確保、さらに若い世代への地域行事などの継承を進めていく上で、学校を活用する視点が大切と考える。郷土文化を知り根付かせることで多くの保護者が準備や運営に参画すれば、教員の負担軽減にもつながる、その入口として学校の協力をいただけないか。

やました てんせい 議員  
山下 てんせい 議員  
(自由民主党/西区)



A 働き方改革の観点から教員が地域に出ることが難しくなっている。今後は学校運営協議会を活性化させて、地域の方の学校運営への参画を進め、学校の中に入っていただき、地域の方と保護者が子どもを共通のテーマに、価値観や課題を共有することから始めていきたい。

5月28日の一般質問から

## 須磨図書館などの周辺再整備

Q 北須磨エリアでは新たな施設が増えているが、須磨区の文化センターや図書館、体育館などは老朽化が進んでおり、子どもの育成や地域の魅力向上につながる施設の新設やリニューアルが不可欠。旧須磨消防署跡地を活用して須磨図書館をリニューアルし、周辺を一体的に再整備してはどうか。

すみもと かずのり 議員  
住本 かずのり 議員  
(日本維新の会/須磨区)



A 須磨図書館、文化センター、体育館は、緑豊かな公園内にあり市民に親しまれている。建物自体は頑強であり、図書館の児童コーナーの充実などにも努めてきた。消防署跡地は狭小で形状面でも制約があるので、今後も現施設を快適に利用いただけるよう美装化などに取り組みたい。

5月29日の一般質問から

## 阪神電鉄による阪神高架下の御影市場などの追い出し問題

Q 阪神電鉄は耐震化工事を理由に御影市場など高架下の店舗や住居の立ち退きを迫っているが、これら商店は地域住民に長年愛されてきたかけがえのない存在である。工事後も商店は残せるわけだから、市は阪神側に退去を前提にした対応をすべきではないと求めていくべきではないか。

にし ただす 議員  
西 ただす 議員  
(共産党/東灘区)



A 小売市場・商店街が地域の活性化や住民サービスの提供に大きな役割を果たしていることは十分承知しており、本市としてもさまざまな支援を行ってきているが、今回の案件については、契約関係にある当事者間で解決が図られるべきことであり、裁判の経過を見守っていきたい。

5月29日の一般質問から

## 文化芸術のまち神戸への取り組み

Q 神戸の文化芸術活動の拠点となる新文化ホールが三宮に整備されることも踏まえ、神戸まちなかパフォーマンスの取り組みのような、パフォーマンスの発掘育成、活動場所の提供などの支援策を拡充しながら、さまざまな工夫や取り組みで音楽や芸術があふれるまちづくりの機運を盛り上げていくべきではないか。

いとう めぐみ 議員  
伊藤 めぐみ 議員  
(こうべ未来/北区)



A まちなかでの音楽パフォーマンスなどがもっと市民や来街者の目に触れる形で広がるよう取り組みたい。さらに、例えばありまホールやすずらんホールで大学生・高校生の普段の練習成果を多くの方楽しんでもらうような取り組みができないかも考えたい。

## 神戸市会の情報サイト「神戸市会ナビ」



神戸市会の役割や市会議員の議会活動について、わかりやすく紹介しています。一般質問での発言内容もご覧いただけます。→



### 用語説明

- ※1 【次期総合基本計画】  
神戸市の将来像や方向性を描く、新たな「総合基本計画」
- ※2 【神戸市通学路交通安全プログラム】  
全国で登下校中の児童生徒が巻き込まれる事故が相次いだことを受け、通学路の安全確保に向けた取り組みを行うために2015年に策定。定期的な合同点検や対策検討などを行っている。

- ※3 【学びの多様化学校】  
不登校児童生徒などの実態に配慮した特別の教育課程を編成して授業ができる学校。
- ※4 【学校運営協議会】  
学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むための仕組みとして、法律に基づいて教育委員会が各学校に設置するもの。神戸市立の全ての小・中学校、義務教育学校に設置済み。

- ※5 【まちかど救急ステーション】  
市民が心肺停止などに陥った時に、AEDを無償で貸し出すことに同意した施設の登録制度。2005年度に運用を開始。
- ※6 【ポートアイランド・リボーンプロジェクト】  
まちびらきから約40年が経過し、まちの成熟とともに賑わいの創出が課題となっているポートアイランドの活性化に取り組むプロジェクト。2022年度から検討を進めている。



# 新しく決まった各委員会の委員 ( )は定数

各議員の紹介を神戸市会ナビで  
ご覧いただけます。→



## 常任委員会

【議員を6つのグループに分け、市の事業を分野ごとに審査する委員会】 ◎委員長 ○副委員長 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

### 総務財政委員会(11人) 市の基本計画、地域活動、財政、監査などに関すること

 ◎上島 寛弘 自由民主党 東灘区  
 ○三木 しんじろう 日本維新の会 中央区  
 萩原 泰三 公明党 中央区  
 川口 まさる 日本維新の会 灘区  
 ながさわ 淳一 日本維新の会 長田区  
 松本 のり子 日本共産党 東灘区  
 平野 章三 無所属 垂水区  
 よこはた 和幸 こうべ未来 中央区  
 平井 真千子 自由民主党 長田区  
 坊池 正 自由民主党 西区  
 吉田 謙治 公明党 西区

### 建設防災委員会(11人) 公園、道路、上下水道、危機管理、消防などに関すること

 ◎伊藤 めぐみ こうべ未来 北区  
 ○浅井 美佳 自由民主党 灘区  
 岩谷 しげなり 日本維新の会 兵庫区  
 つじ やすひろ 無所属 東灘区  
 門田 まゆみ 公明党 須磨区  
 味口 としゆき 日本共産党 灘区  
 外海 開三 日本維新の会 東灘区  
 川内 清尚 こうべ未来 垂水区  
 松本 しゅうじ 自由民主党 須磨区  
 山口 由美 自由民主党 西区  
 菅野 吉記 公明党 兵庫区

### 教育子ども委員会(11人) 学校、保育所などに関すること

 ◎さとう まちこ 日本維新の会 垂水区  
 ○平野 達司 自由民主党 兵庫区  
 前田 あきら 日本共産党 須磨区  
 なんの ゆうこ 日本維新の会 東灘区  
 坂口 有希子 公明党 長田区  
 山本 のりかず 日本維新の会 北区  
 諫山 大介 こうべ未来 灘区  
 植中 雅子 自由民主党 北区  
 しらくに 高太郎 自由民主党 垂水区  
 西 ただす 日本共産党 東灘区  
 堂下 豊史 公明党 北区

### 経済港湾委員会(11人) 観光、商工業、農漁業、港、空港、文化、スポーツなどに関すること

 ◎大かわら 鈴子 日本共産党 兵庫区  
 ○宮田 公子 公明党 西区  
 のまち 圭一 日本維新の会 中央区  
 木戸 さだかず こうべ未来 須磨区  
 上原 みなみ 無所属 北区  
 朝倉 えつ子 日本共産党 北区  
 住本 かずのり 日本維新の会 須磨区  
 河南 忠和 自由民主党 中央区  
 あわはら 富夫 つなぐ 中央区  
 村野 誠一 自由民主党 須磨区  
 壬生 潤 公明党 垂水区

### 福祉環境委員会(11人) 高齢者、地域医療、保健所、環境などに関すること

 ◎高瀬 勝也 公明党 灘区  
 ○やの こうじ こうべ未来 東灘区  
 森田 たき子 日本共産党 西区  
 原 直樹 日本維新の会 垂水区  
 岩佐 けんや 公明党 東灘区  
 香川 真二 つなぐ 西区  
 高橋 としえ 日本維新の会 西区  
 吉田 健吾 自由民主党 灘区  
 岡田 ゆうじ 自由民主党 垂水区  
 五島 大亮 自由民主党 北区  
 森本 真 日本共産党 長田区

### 都市交通委員会(10人) 都市計画、市営住宅、市バス、地下鉄などに関すること

 ◎大野 陽平 自由民主党 東灘区  
 ○赤田 かつのり 日本共産党 垂水区  
 村上 立真 無所属 兵庫区  
 黒田 武志 日本維新の会 西区  
 かじ 幸夫 こうべ未来 西区  
 細谷 典功 公明党 垂水区  
 山下 てんせい 自由民主党 西区  
 徳山 敏子 公明党 北区  
 大井 としひろ 日本維新の会 須磨区  
 坊 やすなが 自由民主党 北区

## 特別委員会

特定の事柄を審査するため、設置される委員会

◎委員長 ○副委員長 △理事

### 外郭団体に関する特別委員会(15人)

- ◎吉田 健吾
- 細谷 典功
- △河南 忠和
- △黒田 武志
- △味口 としゆき
- △諫山 大介
- のまち 圭一
- 浅井 美佳
- 山本 のりかず
- やの こうじ
- 平野 達司
- 宮田 公子
- 朝倉 えつ子
- 高瀬 勝也
- あわはら 富夫

### 大都市行財政制度に関する特別委員会(15人)

- ◎ながさわ 淳一
- 岡田 ゆうじ
- △高橋 としえ
- △徳山 敏子
- △森本 真
- △かじ 幸夫
- 森田 たき子
- 岩谷 しげなり
- なんの ゆうこ
- 萩原 泰三
- 坂口 有希子
- 上島 寛弘
- 伊藤 めぐみ
- 植中 雅子
- 五島 大亮

### 未来都市創造に関する特別委員会(15人)

- ◎門田 まゆみ
- 大井 としひろ
- △山下 てんせい
- △吉田 謙治
- △前田 あきら
- △木戸 さだかず
- 原 直樹
- 岩佐 けんや
- 香川 真二
- 大野 陽平
- 三木 しんじろう
- 大かわら 鈴子
- よこはた 和幸
- 平井 真千子
- 坊池 正

## 市会運営委員会(12人)

議会運営を円滑にすすめるため、日程や議事の取り扱いなどを協議する委員会

◎委員長 ○副委員長△理事

- ◎河南 忠和
- 高瀬 勝也
- △五島 大亮
- △山本 のりかず
- △味口 としゆき
- △伊藤 めぐみ
- のまち 圭一
- 川口 まさる
- 大野 陽平
- 赤田 かつのり
- しらくに 高太郎
- 菅野 吉記

## 兵庫県・神戸市調整会議委員(2人)

- 坊 やすなが
- 堂下 豊史

## 阪神水道企業団議会議員(8人)

- 岩谷 しげなり
- 川口 まさる
- 平野 達司
- しらくに 高太郎
- 高瀬 勝也
- 西 ただす
- よこはた 和幸
- 壬生 潤

## 監査委員(1人)

- 菅野 吉記

## 関西広域連合議会議員(2人)

- 黒田 武志
- 川内 清尚

## 広報委員会(6人)

◎委員長

- ◎平井 真千子
- 吉田 健吾
- 外海 開三
- 高瀬 勝也
- 前田 あきら
- 伊藤 めぐみ